

加西市：分かち合うみんなの電気 蓄電池のまち加西～地産地消エネルギーで結ぶ集落の暮らし～

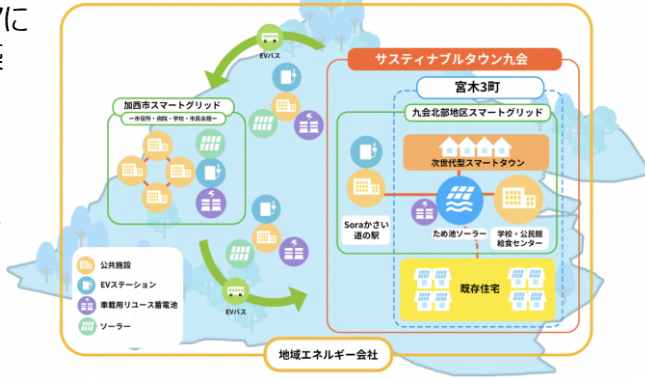
脱炭素先行地域の対象：九会北部地区の上宮木町、下宮木町、下宮木村町の3町（以下「宮木3町」）、全公共施設
 主なエネルギー需要家：新築住宅40戸、既存住宅200戸、全公共施設99施設
 共同提案者：プライムプラネット エナジー&ソリューションズ株式会社

取組の全体像

サステナブルタウンの実現を目指している九会北部地区において、**既存住宅**を対象に**断熱リフォーム**を行い、太陽光発電、蓄電池、V2H充放電蓄電池を導入して、年間を通じて暮らしやすい快適な住環境を創出。市内2エリア(九会北部地区、市役所周辺)にスマートグリッドを構築し、エリア間を結ぶコミュニティバス(EV)を導入。車載用バッテリーの定置型蓄電池への転用技術やエネルギーマネジメントシステムを導入して**エリア全体で自家消費率70%以上**を達成し、**エネルギーの地産地消**、蓄電池の有効利用による**地域内循環経済**を実現。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 宮木3町の**既存住宅200戸**を対象に断熱リフォームを行い、太陽光発電(600kW)・蓄電池・V2H充放電蓄電池を導入して自家消費を進めるとともに、新築住宅**(次世代ZEH+)**40戸を新規開発
- ② **ため池ソーラー**を含む太陽光発電(13,204kW)・大型蓄電池を導入するとともに、市内2エリアに**スマートグリッド**を構築
- ③ **車載用バッテリーの定置型蓄電池への転用技術**やエネルギーマネジメントシステムを導入し、既存住宅を含むエリア全体で**自家消費率70%以上**を達成



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① コミュニティバス(3台)、公用車(11台)を順次EV化し、**再エネ100%のEVステーション**を整備
- ② 旧日本海軍の鶉野飛行場跡に建設した平和学習施設「soraかさい」に、MaaSを活用したグリーンスローモビリティ(1台)を導入するとともに、蓄電池を併設した**再エネ100%のLED街路灯(160基)**を導入

3. 取組により期待される主な効果

- ① 既存のリフォーム補助に、新たな断熱リフォーム補助を併用する**空き家対策**や次世代型スマートタウンの開発などを通じて暮らしやすい快適な住環境を提供し、**若者、子育て世代、高齢者の定住促進**を実現
- ② 車載用バッテリーの定置型蓄電池への転用技術やエネルギーマネジメントシステムの導入により、地域内の自家消費率70%を実現し、**エネルギーの地産地消**と蓄電池の有効利用による**地域内循環経済**を実現
- ③ ため池ソーラーを導入することにより、**ため池の維持管理**と**脱炭素**を両立し、他地域への横展開を図る

4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
	次世代型スマートタウンの開発							
		九会北部地区スマートグリッド構築						
		既存住宅への省創蓄エネ促進補助						
		加西市スマートグリッドの構築						
	地域エネルギー会社の設立							
		コバス・公用車のEV化・EVステーション整備						
		グリーンスローモビリティ・再エネ100%街路灯の導入						